

**府民公募型安心・安全整備事業（府民提案型）技術審査一覧【京都市域】**

受付番号	提案施設			提案概要	用地買収の有無	工事の仕分け等（第1段階チェック）		技術審査（第2段階チェック）結果						技術審査結果	審査委員会意見等	備考
	種別	名称	所在地			対象	→対象工事とならない理由 (欄外: 対象番号を記入)	公共事業としての必要性	地域づくり等との整合性	地域要望等との整合性	関係法令、構造基準等との適合性	早期対応の必要性	他の管理者等との調整の難易			
10-1	河川	高野川	京都市左京区 高野蓼原町～高野 西開町	通路の補修	無	○		○	○	○	○	○	○	実施する ①		
10-2	河川	高野川	京都市左京区 高野蓼原町～高野 西開町	通路の段差解消	無	○		○	○	○	○	○	○	実施する ①		
11	河川	鞍馬川	京都市左京区 静市市原町	堆積土砂の除去等	無	○		○	○	○	○	○	○	一部実施 ②		
12	河川	四宮川	京都市山科区 四ノ宮川原町及び 四ノ宮山田町	落差工の補修	無	○		○	○	○	○	○	○	実施する ①		
13	河川	有栖川	京都市右京区 嵯峨広沢御所ノ町 ～嵯峨新宮町	木の伐採と堆積土砂 の除去	無	○		○	○	○	○	○	○	実施する ②		
15	河川	三明谷川	京都市右京区 京北塔町	河川法面の修復と 堆積土砂の除去	無	○		○	○	○	○	○	○	実施する ①		
17-1	河川	室地川	京都市右京区京北 田貫町	護岸の整備	無	○		○	○	○	○	○	○	実施する ①		
17-2	河川	室地川	京都市右京区京北 田貫町	堆積土砂の除去	無	○		○	○	○	○	○	○	実施する ②		

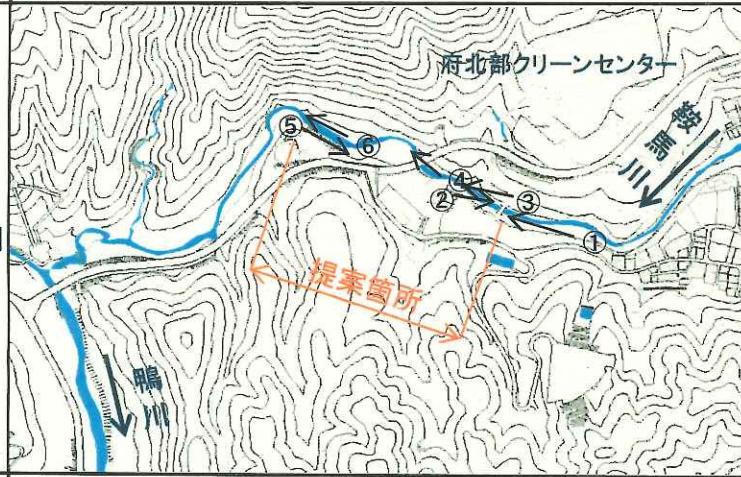
# 府民公募型安心・安全整備事業( 市町村協働型 ・(府民提案型) )

番号	10-1	写真
路線・河川名等	高野川	
所在地	キョウトシ サキヨウク タカノ タデハラチョウ タカノ ニシビラチョウ 京都市左京区高野蓼原町～高野西開町	
提案内容	京都バスの「御蔭橋」、「清水町」、「蓼倉橋」の各北行きバス停周辺の通路(横断歩道からバス停までのアプローチ部)を歩きやすくすること。	 写真①
現在の状況	各バス停周辺には歩道がなく、バス利用者は高野川の堤防天端を利用されているが、敷石と敷石の間の土が洗い流されるなどして天端の上面に凸凹や段差が生じている。	 写真②
対応案及び実施不可の場合の理由	堤防天端の凹凸や段差を解消する。	 写真③
位置図		 写真④
備考		 写真⑤
		 写真⑥

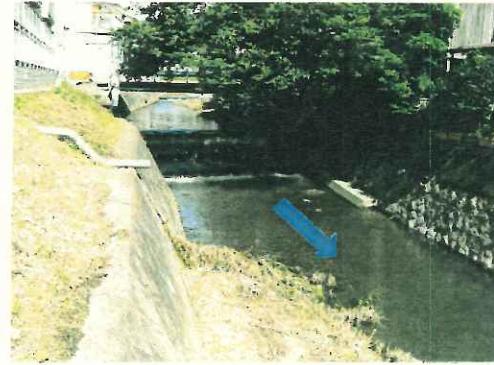
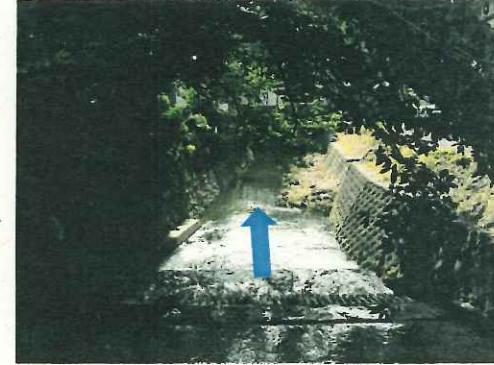
府民公募型安心・安全整備事業( 市町村協働型 ・ **府民提案型** )

番 号	10-2	写 真
路線・河川名等	高野川	
所 在 地	キョウトシ サキヨウク タカノ ニシビラチョウ 京都市左京区高野西開町	
提 案 内 容	京都バスの「御蔭橋」バス停付近の段差を解消する。	 写真①
現 在 の 状 況	提案箇所の段差は、高野川の高水敷に至る階段への取り付けのため、一段低くなっているもの。	 写真②
対応案及び実施不可の場合の理由	バス停への導線、階段への取り付け、バス乗降時の安全などを勘案の上、通路のフラット化、スロープ化を行う。	 写真③
位 置 図		
備 考		

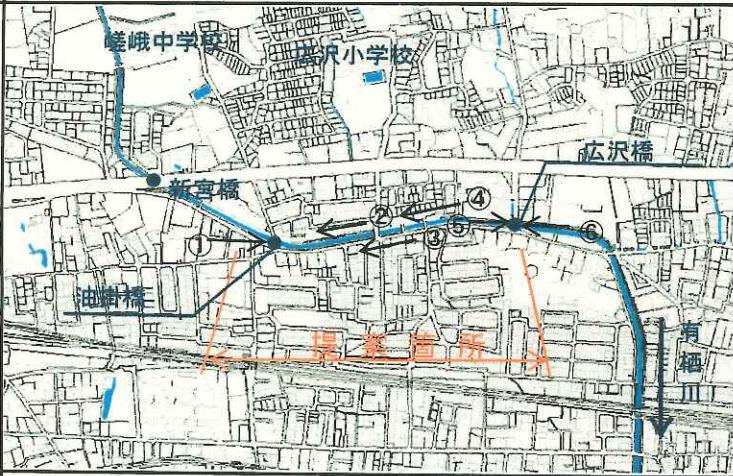
府民公募型安心・安全整備事業( 市町村協働型 ・ **(府民提案型)** )

番号	11	写真
路線・河川名等	鞍馬川	
所在地	京都市左京区静市市原町 キヨウツシ サキヨウク シズイチイチハラチョウ	
提案内容	①堆積土砂を除去する。(延長:約400m) ②上流からの土砂供給をおさえる。 ③東北部クリーンセンターからの放流量をおさえる。	 写真①
現在の状況	提案の全区間にわたり、土砂が堆積傾向にあり、疎通能力が低下している。	 写真②
対応案及び実施不可の場合の理由	①堆積の著しい区間を中心に堆積土砂を除去する。 ②本事業の対象外。 ③本事業の対象外。	 写真③
位置図		 写真④
備考	堆積土砂の除去のみ実施。	 写真⑤
		 写真⑥

府民公募型安心・安全整備事業( 市町村協働型 ・ **(府民提案型)** )

番 号	12	写 真	
路線・河川名等	四宮川		
所 在 地	京都市山科区四ノ宮川原町及び四ノ宮山田町 キヨウトシ ヤマシナク シ ミヤカワハラチョウヨウ シ ミヤヤマダチョウ		
提 案 内 容	落差工の水が流れ落ちる音を軽減するため、落差部を緩やかなスロープ形状にづくりかえる。	 写真①	
現 在 の 状 況	落差工本体の老朽化や河床洗掘により、流水の音も大きくなっている。特に、水叩直下の洗掘は著しく、護岸構造物への影響が懸念される。	 写真②	
対応案及び実施不可の場合の理由	落差工下流の河床洗掘は水叩長の不足が要因と考えられるため、水叩を継ぎ足すなど、一定区間において護床工を整備する。また、落差工本体も施設の延命化と合わせて水落ち音の軽減も図れるようスロープ形状に改良する。		
位 置 図		 写真③	 写真④
備 考			

府民公募型安心・安全整備事業( 市町村協働型 ・ 府民提案型 )

番号	13	写真
路線・河川名等	有栖川	
所 在 地	京都市右京区嵯峨広沢御所ノ内町～嵯峨新宮町 キヨウトシ ウキヨウク サガ ヒロサワゴショ ウチヨウ サガ シングウチョウ	
提 案 内 容	①法面に茂った木(桜、柿の木を除く)の伐採と除草 ②堆積土砂の除去 (延長:約350m)	 写真①
現 在 の 状 況	提案箇所は、人家連担地を流れる掘込河道の区間で、河岸に繁茂した木々により見通しが悪く、護岸構造物や法面の変状も確認しにくい状況にある。また、全区間にわたり、河床高は土砂の堆積により上昇傾向にある。	 写真②
対応案及び実施不可の場合の理由	①倒木や根腐れにより、洪水の流下や河岸の安定に支障のある大木を中心に伐採を行う。 ②堆積土砂を除去し、本来の河積を確保する。	 写真③
位 置 図		 写真④
備 考	除草は維持管理の中で対応。	 写真⑤
		 写真⑥

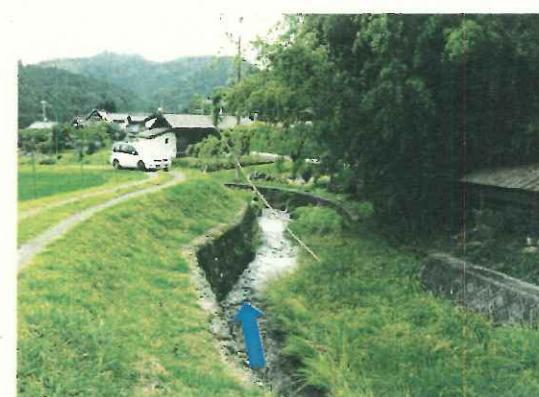
府民公募型安心・安全整備事業( 市町村協働型・**(府民提案型)** )

番号	15	写真
路線・河川名等	三明谷川	
所 在 地	京都市右京区京北塔町 キョウトシ ウキヨウク ケイホクトウ チョウ	
提 案 内 容	崩落した法面の修復と堆積土砂の除去 (全体延長約900mの内、約300m間に崩落箇所が点在)	
現 在 の 状 況	提案箇所は、緩勾配の土羽法面で河道を形成しているが、上流部を中心に、流水による河床洗掘と側方浸食が進み、法裾の崩落箇所が点在している。また、崩落した土砂等の流出により、下流部は土砂の堆積傾向がみられる。	 
対応案及び実施不可の場合の理由	今後の出水による増破を防ぐため、一定区間に護床工を施し、崩落した法面は補強を加えて機能復旧するとともに、土砂堆積の顕著な箇所はこれを除去することにより、本来の治水安全度を確保する。	
位 置 図		
備 考		

府民公募型安心・安全整備事業( 市町村協働型 ・(府民提案型) )

番号	17-1	写真	
路線・河川名等	室地川		
所 在 地	京都市右京区京北田貫町 キヨウシ ウキヨク ケイホクタヌキ チョウ		
提 案 内 容	護岸工事の実施。 (箇所A:約9m、箇所B:約3m) (箇所C:約4m、箇所D:約6m)	 〈写真①(箇所A)〉	
現 在 の 状 況	河道は蛇行がはげしく護岸の抜け区間が点在しており、河岸の浸食や老朽化した石積み護岸の崩落等が見られる。	 〈写真②(箇所B)〉	
対応案及び実施不可の場合の理由	今後の出水による増破を防ぐため、護岸を整備する。		
位 置 図		 〈写真③(箇所C)〉	 〈写真④(箇所D)〉
備 考			

府民公募型安心・安全整備事業（市町村協働型・（府民提案型））

番号	17-2	写真
路線・河川名等	室地川	
所 在 地	京都市右京区京北田貫町 キヨウシ ウキヨク ケイホクタヌキ チョウ	
提 案 内 容	堆積土砂の除去。 (延長:約60m)	
現 在 の 状 況	堆積土砂が河積を阻害し疎通能力が低下している。	<p>写真①</p>
対応案及び実施不可の場合の理由	堆積土砂を除去し、本来の河積を確保する。	
位 置 図		
備 考		<p>写真②</p>